



**みぞぐち幸治**

みせます つたえます つなげます

みぞぐち幸治事務所  
〒868 0006  
熊本県人吉市駒井田町1952-34  
TEL 0966-22-5800  
FAX 0966-22-5802  
office@k-mizoguchi.com  
http://www.k-mizoguchi.com



2月15日/人吉市社会福祉のつどい

任期中、そして平成、最後となる定例県議会が三月十五日に閉会いたしました。

今回、光栄なことに、自民党を代表して県政の重要課題について質問させて頂きました。

異例ではありませんが、この一年で二回質問の機会を頂きました。

さて、今回の定例会においては、「国の補正予算対応分（四九四億九一〇〇万円）」などを主な内容とする平成三十一年度二月補正予算及び平成三十一年度当初予算（七九一五

**決断と実行、情熱を持って  
新たな時代を切り拓く！**

地方こそ原点。地域資源を磨き、さらなる魅力を発信！

億円）をはじめとする議案（全一六件）について審議され、可決されました。

また、熊本地震からの復旧・復興に関して、「被災者の住まいの再建」「空港アクセス鉄道の整備」「益城町の復興まちづくり」「グループ補助金」「八代港のクルーズ拠点整備」や「開催まで一年を切った二つの国際スポーツ大会の成功に向けた取組み」など、「創造的復興に向けた重点一〇項目」さらには外国人材の受入れ、農林水産業の振興や道路整備の推進など、県政の各分野にわたる様々な施策などについて活発な議論が行われ、任期中最後の議案を終えることができました。

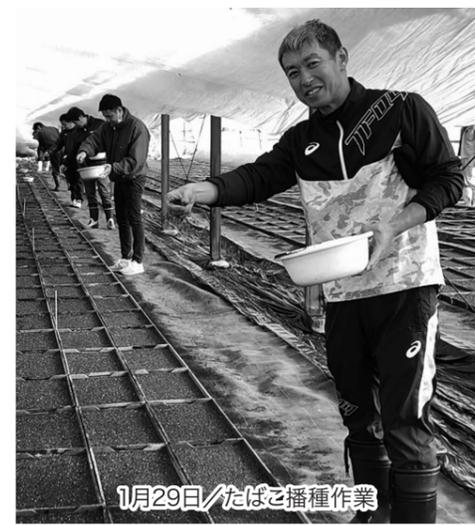
この四年間振り返ってみると、何と言っても熊本地震の発生が大きな出来事でした。傷ついた熊本を元の姿に戻すため、創造的復興を成し遂げるため、県政の最大のピンチをチャンスに変えるため、できることは全てやる覚悟で取り組みを進めてきました。

熊本地震の発生から間もなく三年を迎えますが、一日も早い熊本の再生に向けて、創造的復興を成し遂げるために、引き続き、蒲島知事をはじめとする執行部などしっかりと連携して、「チーム熊本」の一員として全力で取り組んでまいります。

二十八歳で政治の世界に飛び込んだ私も四十八歳です。

皆様のお陰で、市議会議員一期、県議会議員として四期、計二十年間、様々な経験、体験、そして仕事をする機会を与えて頂きました。

これからもこれまでの経験を活かし、人吉市民の代表として、生まれ育った愛する人吉球磨のために、復興道半ばの熊本県のために、そして祖国、日本国のために務めを果たしていく覚悟です。引き続きよろしくお願ひします。



1月29日/たばこ播種作業

**人吉球磨の魅力を、熊本のチカラに。  
溝口幸治が目指すもの！**

**熊本地震の教訓を忘れない**

天災・災害はいつ来るか分かりません。「備えあれば憂いなし」の言葉の通り、インフラ整備等を踏まえ災害対策に取り組みます。

**2019国際スポーツ大会の成功に向けて**

今年はラグビーW杯、世界女子ハンドボール選手権大会が熊本で開催されます。大会の成功とは大会を無事に終わらせること、大会を通じて熊本に大きな経済効果を生み出すこと、そして世界に熊本の魅力をアピールすることです。全力で取り組みます。

**定住・移住・起業家支援・企業誘致を一体的に**

くまもとの自然、水、豊かな農産物は全国に誇れるものです。人吉球磨をはじめそれぞれの地域では人口減少、空き家対策等の共通の課題があります。それを解決するためには「選ばれる地域をいかに創るか」が重要です。地域の資源と私のこれまでの経験をフル活用して取り組みを進めます。

**「日本でもっとも豊かな隠れ里」を全国へ、そして世界へ**

青井阿蘇神社の国宝指定、人吉球磨地域の日本遺産認定等、大きな追い風を受けて人吉球磨が一体となって取り組みを進める大事な時です。さらに磨き上げ保存すべき文化財を守りつつ、ここにしかない資源を全国へ、世界へ情報発信していきます。

**教育改革と社会保障改革**

教育も社会保障も大きな転換期にきています。「世界に誇れる日本人」をいかに育てるか乳幼児期から生涯を終えるまでの教育について研究を深め実践に努めます。社会保障改革は待ったなしです。かつて経験したことがないような人口減少社会へいかに対応するのか、国での議論を注視しながら取り組みを進めます。教育も社会保障も人吉球磨独自の取り組みを模索していきます。

**憲法改正に向けて**

憲法を改正すれば国民の生活がどのように改善されるのか？日本国、国民にとってなぜ改正が必要なのか？熊本地震の対応で感じたこと等、みじかな事例を用いて県民の幅広い理解を得て国民投票に臨みます。

▼編集後記  
200年ぶりのご譲位による御代替りがもうすぐ行われます。天皇は祭祀王であり、国民の安寧を祈られる存在です。天皇陛下は平成の30年間、ひたすら国家国民の安寧を祈ってこられました。どれほどの国民が未曾有の大災害のなか天皇陛下のお言葉に勇気づけられてきたことでしょうか。御代替りの好機に、日本の国柄すなわち日本の誇るべき「国のかたち」をより積極的に語っていくべきだと思います。今春の統一地方選挙は平成の世から次の時代を担う重要な選挙です。「政（まつりごと）」を通して「地域のかたち」を積極的に議論していきませんか。<K.T>

この会報のお問合せは  
**溝口幸治事務所**  
人吉市駒井田町1952-34  
tel 0966-22-5800  
fax 0966-22-5802  
http://www.k-mizoguchi.com  
E-mail:office@k-mizoguchi.com



発行 溝口幸治事務所  
記載責任者 富山孝治



# 県議会 代表質問

## 三月定例会

### ①創造的復興に向けた取り組み

**(1)被災者の住まいの再建**  
溝口 約四八〇〇〇人だった仮設住宅入居者は、一月末時点で残り一九〇〇〇人。今後、高齢者など、住まいの再建が難しい世帯が顕在化する。再建が難しい世帯の住まいの確保についてどのように進めていくのか、尋ねる。

**答弁(知事)** 課題は、新たな延長要件に該当しなくなる民間賃貸住宅を希望する世帯の支援。まだ決まっていない場合、地域支え合いセンターや相談員が支援。複合的な課題を抱えている場合、ケース検討会議を開催し支援。新たな支援策として、災害公営住宅等への入居支援、見守り体制やコミュニティ形成支援を行う。来年春季までに住まいの再建を実現する目標に向け、やむを得ない事情等の二〇〇〇世帯を除き、見通しが立ちつつあり、全庁挙げて取り組んでまいる。

### (2)益城町の中期的な財政負担の軽減に向けた取り組み

溝口 益城町における、①被災市街地復興推進地域内の各種まちづくり事業への財政負担の軽減と、

②これまでの要望活動の成果について、尋ねる。

**答弁(知事)** ①都市防災総合推進事業等の国庫補助制度一部拡充や補助率かさ上げと地方財政措置拡充が実現。国県の支援で推進地域内のまちづくり事業の町負担は、約四〇％から約七％までに軽減。②県選出国会議員や県議会とともにチーム熊本が取り組んだ成果であり、被災市町村において安定的な財政運営が見通



### ⑦水俣病の認定審査

溝口 ①平成三十一年度までに二〇〇〇件審査完了の目標達成に向けた進捗や取組状況、②知事三期目就任当時の認定申請者一二六四人の現在の状況、③目標達成に向けてどのような取り組みを行うのか、尋ねる。

**答弁(知事)** ①認定審査会を年六回開催。現在まで九〇九件を審査。②二月末で審査未了は二九五。新たな申請もあり、二月末申請者数は六三一人。③年間三〇〇〇件程度の審査を行い、目標一二〇〇件に向け取り組んでまいる。

### ⑧球磨川流域の治水対策と五木村振興

**(1)球磨川流域の治水対策**  
溝口 今後の球磨川の治水対策について、どのように進めようと考えているのか、尋ねる。

**答弁(知事)** 球磨川治水対策協議会で示した治水対策の組合せ案と様々な観点から、評価を整理、検討中。終了次第、この協議会で議論を深める。実施可能なハード対策と人命を守るためのソフト対策を推進し地域の防災力向上を図ってまいる。

### (2)五木村の振興

溝口 今後の五木村振興について、どのように考えているのか、尋ねる。  
**答弁(知事)** 来年度以降の振興策について、五年間の計画を策定す

せることになった。

### ⑨空港アクセス鉄道の整備

溝口 JR九州の同意を得てスタートする空港アクセス鉄道の整備実現に向けて、知事の想いと今後の取り組みについて、尋ねる。

**答弁(知事)** 五〇年、一〇〇年後の発展を見据え、鉄道の早期実現を目指す。二〇二三年の新ターミナルビル完成に近づけるよう取り組む。JR九州から整備費の三分の一を上限に拠出という協力が得られた。県民負担最小化のため国との協議を進め、予算と組織体制を充実させ、取り組んでまいる。

### ⑩国際スポーツ大会開催に向けて

**(1)経済界の盛り上がり**  
溝口 大会開催に向けた経済界の盛り上がりや、どのように考えているか、また、どのように盛り上げていくか、尋ねる。

**答弁(国際スポーツ大会推進部長)** 地元経済界と大会を盛り上げ、最大限の効果を生み出したい。経済波及効果の見込は、ラグビー約九八億円、女子ハンドボール約九二億円、合計約一九〇億円。外国語対応等に取り組む、ボランティア活動や応援等も盛り上げたい。関係事業者等との連携を強化し、創造的復興につながるよう準備を進める。

### (2)組織体制の充実

溝口 大会期間中の支援体制も

る。総額三億円の財政支援を行い、この計画を進めていきたい。

### (3)住民避難につながるソフト対策強化

溝口 二点提案する。①統合型防災情報化システムの見える化、②気象情報を読み解く人材育成と人材確保。提案を踏まえて、県はソフト対策の充実についてどのように考えるのか、尋ねる。

**答弁(知事公室長)** ①県ホームページから簡単にアクセスできるように改善に取り組む。②国の資格取得に対する支援制度創設を周知し、活用を検討する。住民が命を守る避難行動を実践できるように、ソフト対策の充実・強化に取り組んでまいる。

### ⑪TPP11等グローバル化進展の中での農林水産業の振興方向

**(1)スマート農林水産業の推進**

溝口 農林水産業の維持・発展のためには、①先端技術を活用したスマート農林水産業への取り組みと、②外国人材の受入れ拡大が鍵となる。どのように進めていくのか、尋ねる。

**答弁(農林水産部長)** ①スマート農林水産業の推進が不可欠。来年度から強力で施策を展開する。②即戦力として外国人材を受け入れ、安心して就労できる環境整備を進める。農業者と農業外国人

を含め、来年度の体制をどのように考えているのか、尋ねる。  
**答弁(総務部長)** 競技団体等との連絡調整等の業務増加のため、必要な人員体制を整備する。大会期間中は全庁を挙げて取り組んでまいる。

### ⑫くまモンの今後の展開

溝口 ①くまモン利用商品売上高をどのように見込んでいるか、②今回創設する基金をどのように活用していくのか、尋ねる。

**答弁(知事)** ①平成三十年売上高は一五〇五億円。前年から約七％増加し、累計六六〇億円超。②利用料による自立財源を構築していきたい。3年後は利用料の一部も基金に積み立てを想定。四、五年後に基金を取り崩し、くまモンを支えていくための経費に充当予定。

### ⑬ワンピースの仲間の像設置に向けた今後の進め方

溝口 ①設置計画公表に向けた今後の進め方、②今後、仲間の像をどのように活用し、被災地の復興や周辺地域の復興につなげるのか、尋ねる。

**答弁(知事)** ①審査の透明性や公平性が重要。複数設置案を有識者意見交換会で示し、集英社と協議を行い、四月の復興ウィークに発表。②震災ミュージアム構想と連動した回廊ルート設定など市町村と連携した取組を進める。ワンピ

材のWIN-WINの関係構築に努める。

### ⑭防災・減災、国土強靱化に向けた取り組み

溝口 国の二次補正予算で、国交省から全国三位の配分を受けた。今後、どのように防災・減災、国土強靱化に取り組んでいくのか、尋ねる。

**答弁(土木部長)** この予算をインフラの機能維持や住民の早期避難を促す取組等に活用。今回の二次補正など特別に措置される予算を最大限活用し、防災・減災、国土強靱化を加速してまいる。



①ス連携の復興プロジェクトも継続。像の設置がない市町村にも効果が波及するよう知恵を絞る。

### ⑥発達障がい等の障がいのある子どもたちへの支援

**(1)発達障がいの医療提供体制整備**  
溝口 診療までに要する期間が長期化している中、発達障がいの医療提供体制の充実に向けて、県はどのように取り組んでいくのか、尋ねる。

**答弁(健康福祉部長)** 医師の育成、地域の医療機関の充実、療育機関との連携強化の三柱で取り組んでいる。新たに国モデルの発達障がい診断待機解消事業を今定例会に提案。発達障がいの医療提供体制の充実を努める。

### (2)特別支援教育の充実

溝口 ①障がいのある生徒が確かな学びを継続していくための対応、②県立特別支援学校整備について、今後どのように取り組むのか、尋ねる。

**答弁(教育長)** ①教職員の意識向上のため研修を実施中。通級指導教室を三校設置し、支援員を七校に一人配置。来年度、全ての生徒にわかりやすい授業をつくる取組を開始。教育センター等と連携し確かな学びを支援する。②七校対象に、既存県有施設を活用し特別支援学校の一部又は全部を移転等して、概ね一〇年間で教室不足を解消したい。